

## 日本色彩学会活動功労賞

## 日本色彩学会活動功労賞を受賞して

Greeting of receiving the CSAJ Activity Contribution Award

下川 美知瑠 カラー&ファッション マーケティング+デザイン研究所  
 Michiru Shimokawa Color & Fashion Marketing + Design Institute



この度は、日本色彩学会活動功労賞を賜りまして、御礼を申し上げます。また、これまでお力をお借りしました理事会、東海支部、研究会、先輩の諸先生方の様々な方々にも併せて御礼を申し上げます。思いもかけないことで、大変光栄なことと同時に驚いております。

私が色彩学会に入会したのは、色彩検定を教える講師となった頃だったと思います。まだ、事務局が浜松町にあった頃で、その後、事務局が目白に移転し、色彩教材研究会が当時スタートしたことも懐かしく思い出されます。

私は、大学卒業後、インテリアの企画の仕事を経て、ファッションの企画の仕事をしておりました。アパレルの商品企画や専門店、百貨店の商品計画、VMD（ヴィジュアル・マーチャンダイジング）、売り場教育等といったものです。色彩との出会いは、アパレルに所属していた時に、全社的に統一した『カラーコード』を作成する担当になったことでした。『カラーコード』というのは、商品の色番を小さなカラーチップと色名で表示したのですが、それまでに関わったことはなく、全く手探りの状態でした。当時、企画課内で使っていたカラーチップの体系的なブックがあり、その発行元である京都の染色メーカーさんを尋ね、半年かけて何とか完成させることができました。恥ずかしいことですが、この時に、マンセル色彩体系を知ることとなりました。

大学は、美術工芸科だったので、色彩の授業もあり、ヨハネス・イッテンの『色彩論』等も持っていたのですが、マンセル体系どころか自分には何の色彩の知識もなかったと愕然としました。現在はありませんが、アパレルで情報契約していたカネボウファッション研究所で、色彩講座を開講しているのを知り、仕事の合間にこの講座に週3回通うようになりました。今、思えば、色彩の基礎の基礎を学び、応用課題を提出することで、色彩漬けの毎日を過ごしたことは、苦しくも楽しい日々でした。色彩検定試験が開始されたのは、この頃でした。

この講座で、社会人対象の専門学校の責任者と知り

合い、色彩検定取得後は、この専門学校で色彩を教えることとなりました。その後、色彩はファッションと共に私の仕事として、現在まで継続させて頂くことができました。

色彩学会での活動は、色彩教材研究会での幹事からスタートし、大変勉強させて頂きました。顧問の北島先生、永田先生と共に学ばせて頂いた時間は、私にとっては何ものにも替えがたい、大変貴重で贅沢なものでした。

城先生の講演会は、古今の色彩について魅力的に思われ、池田先生の色彩講座は、難しい科学的内容を解りやすくお話されておりました。どの先生方も、色彩の本の著者御本人で、色彩学会はとっても贅沢な学会だと思っていました。私自身は、色彩学会に育てて頂いたといっても過言ではないと思っています。そのお返しを少しでもできればという気持ちから、支部、理事会、研究会の活動をさせて頂いてきました。

特に、2018年からは、色彩学会創立70周年記念事業の記念品作成、『今年の色』（現在の『MIC』（その年の最も印象的な色）、『ICD』（国際色彩記念日）の立ち上げ担当をさせて頂き、大変貴重で興味深い経験をさせて頂きました。2021年からは『教育普及委員会』でいくつかの色彩講座やオンライン見学会、オンライン講演会を開催させて頂くことができ、自分自身も関心のあるものも多く、勉強もさせて頂きました。担当ではありながら、同時に勉強もさせて頂いた、大変幸せな職務でもあったといえます。お忙しい中で協力して下さった教育普及委員をはじめ、多くの先生方には、改めて御礼を申し上げます。

色彩と色彩学会に参加することで、私は視野が広がり、美しいものに触れる機会が増え、心地よい時間を多く持つことができました。これまで、あまり振り返ることはありませんでしたが、今回の活動功労賞の受賞を機会に、次の色彩の方向を考えて活動をして参りたいと思います。どうもありがとうございます。